

金津創作の森 20周年記念

# 第9回 森の作家展 —出会いをカタチに 20年目の森—



陶芸家・松井勝彦氏による「水琴窟」と作曲家・山口紀子氏が作り出す音によって生まれる空間など、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションをお楽しみください。

4月21日(土)～6月10日(日)

10:00～17:00 (最終入場 16:30)

会場:アートコアミュージアム-1、ギャラリー

料金:一般600円(400円)、65歳以上および障害者300円、

障害者の介護者(当該障害者1人につき1人)・高校生以下無料

※( )は20人以上の団体料金

【創作の森入居作家】大森正人(陶芸)、加藤すみ子(染画)、松井勝彦(陶芸)、山口紀子(作曲/音楽監督)、山田信雄(竹細工)、山野宏(ガラス工芸)

## ■入居作家・山口紀子コンサート

「野生が足りない!」

6月2日(土) 開場/16:30 開演/17:00

作曲・音楽監督:山口紀子

出演:宮崎孝子(箏)、神谷紘実(マリンバ・パーカッション)

会場:アートコア・ミュージアム-1

料金:1,500円 定員:50人

関連イベント

## ■入居作家・加藤すみ子

「ろうけつで絵はがき体験」

6月9日(土) 13:00～15:00

(時間内随時受付)

講師:加藤すみ子

会場:アートコアギャラリー

参加料:300円



上:山野宏「Drawing on the Vessel #19」2018、ガラス

下:長田和也「タペストリー」2011、越前和紙



がんばろう!福井国体2018  
森のアートフェスタに  
はぴりゅうがやってくる!  
5/12(土)  
11:00～12:00



福井国体マスコット

## 入居作家 アトリエ公開

今年は3人(竹人形、陶芸、染めもの)



森の木立を抜け、工芸の現場で、本物と触れ合う

# 第18回金津創作の森 森のアートフェスタ

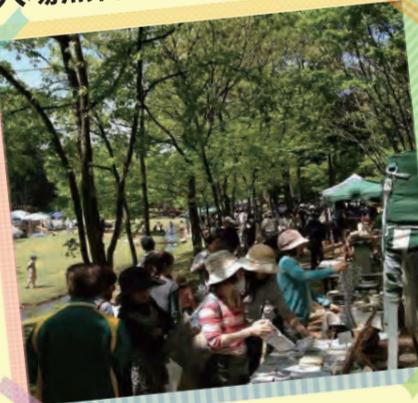
5月12日(土)・13日(日)  
入場無料\*雨天開催



葉皿作り(創作工房)



万華鏡作り(ガラス工房)



前回の風景

新緑の季節。金津創作の森オンリーワンのイベントで、全国の作り手との交流や魅力ある作品などいろんな出会いを楽しもう!青空の下で味わう「森のキッチン」もオススメです。



レストラン・アンビション  
テラス席の季節到来!  
散策や美術鑑賞と併せてご利用ください



レストラン併設ショップ  
入居作家の作品を販売中。  
JR芦原温泉駅「おしえる座あ」、  
「創作工房ロビー」でも購入できます。

## ガラス講座生募集中



お問い合わせはガラス工房(73-7801)まで

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団 事務局 TEL73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式)問合せ アンビション TEL 73-4141



## 温かい支援に互いに感謝

◆3月6日(火) 市役所



2月の大雪で災害派遣要請を受けた陸上自衛隊金沢駐屯地の隊員に、入浴施設を手配したとして、芦原温泉旅館協同組合と市の観光商工課に、感謝状が贈られました。

隊員は、国道8号で発生した車両の立ち往生解消のため、4日間風呂に入ることができないまま、汗だくになりながら除雪作業に従事していました。作業終了後、駐屯地側から入浴できる場所がないか問い合わせがあり、市が仲介。駐車場が確保できる5旅館とセントピアあわらが受け入れ、約100人の隊員が汗を流しました。

この日、隊員を代表して加々尾哲郎司令が、旅館協同組合と各旅館、観光商工課に、それぞれ感謝状と記念品を手渡しました。司令は「冷えた体に熱いお湯がジワッと染みて、大変気持ち良かった。地元の皆さまの温かい支援に感謝します」と述べていました。

隊員の皆さんには、国道8号だけでなく、入浴施設に向かう途中でもスタック車両の救出などにご尽力いただきました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

## 受賞おめでとうございます!



福井しあわせ元気国体、大会の公式ダンス「はぴねすダンス・音頭」コンテストの坂井・奥越大会が開催されました。▲グリーン♡フラッシュ!!(保護者提供)が最優秀賞を受賞。小学校高学年・中学生部門と一般部門にそれぞれ7チームが出場し、このうち、一般部門で市内の「グリーン♡フラッシュ!!」が最優秀賞を受賞。小学校高学年・中学生部門でも、市内の「Happy Smile」が最優秀賞、「ゲンキッズステーションASOVIVA!」が特別賞を受賞しました。

各部門の受賞チームは、福井国体・大会の開閉式に参加できるほか、最優秀賞と優秀賞のチームは、6月24日(日)に開催される決勝大会に出場します。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!



## 旅立ちの日に

◆3月15日(木) 市内各小学校



市内の各小学校で、それぞれ卒業式が執り行われました。このうち本荘小学校は、新郷小学校出身の児童と一緒に初めでの卒業式でした。式では、校長先生が「2つの区が1つの小学校に通うことになった節目の年に、『新本荘っ子』として協力して仲良くしていた。中学校では、夢を持ち、志を立て、日々の努力を続けてください」とはなむけの言葉を述べました。また、「別れのことば」として、卒業生と在校生が思い出を語り合う中で、新郷小学校のことに言及し、新郷小学校の校歌の1番を全員で歌う場面もありました。最後は、在校生の大きな拍手に送られながら、学校での思い出を抱いて卒業生は旅立っていきました。

## 防災についてしっかり学びました

◆3月28日(水) 市役所



5年生で構成された芦原小学校少年消防クラブが、平成29年度の優良な少年消防クラブとして消防庁長官賞を受賞しました。これは、過去3年間、消防資機材の見学や消火体験といった防火教室や防火ポスターなどの広報活動を活発に行ってきたことが評価されてのもので、今年度受賞した全国の47団体のうち、福井県から選ばれたのは芦原小学校だけです。

この日、クラブを代表して鈴木大賀君と池田紅香さんが市長を訪問。学校周辺の消火栓や危険箇所を調べたことなどを報告しました。市長は「学んだことを、ぜひ周りの人に教えてあげてください」と述べていました。

また、芦原小学校少年消防クラブは、「小学生の防災マップコンクール」でも佳作を受賞しました。